

外交史料館
展示室
リニューアル
オープン
一周年記念



吉田茂 展

貴重史料から浮かび上がる吉田茂像

2025
4.8 tue
/
5.31 sat



外務省外交史料館展示室
Diplomatic Archives Exhibition Room
Ministry of Foreign Affairs of Japan

東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ森JPタワー5階
Azabudai Hills Mori JP Tower 5F, 1-3-1, Azabudai, Minato-ku, Tokyo
【開館時間】10:00~17:30（入室は17:00まで）【休館日】日・祝日
写真：[左上] 1959年豪州訪問において談笑する吉田茂 [中央] 吉田茂邸の2階応接間にあった衝立（部分）

入場
無料
admission
free

Information 詳細はこちら

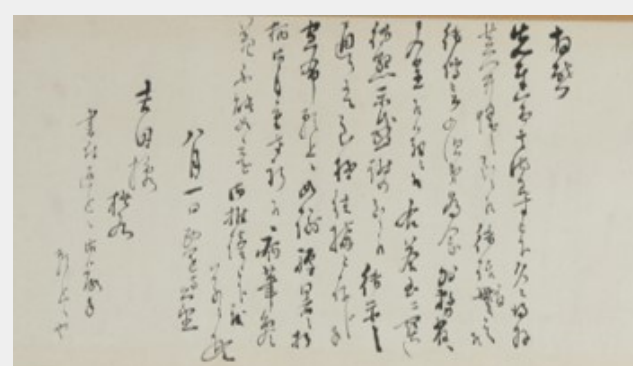


貴重史料から浮かび上がる 吉田茂像

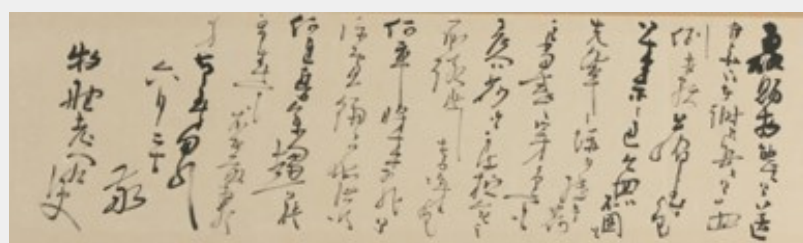
吉田茂は、戦前期に外交官としてのキャリアを歩み、戦後は首相としてサンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約を締結するなど、現在に至る日本の外交路線決定に重要な役割を果たしたことが知られています。日本外交史上の業績はもちろんのこと、その人物像も注目され、様々な方面からの様々な評価があります。「ワンマン宰相」や「バカヤロー解散」といった、辛辣ながらユーモラスな言葉で評された個性は、吉田の魅力を反映したものといえるかもしれません。外務省外交史料館展示室のリニューアルオープン一周年に際し、吉田茂を顕彰する意味で、当館所蔵の吉田茂関係史料を展示します。本展示会が、吉田の人間像を知っていただく道しるべとなれば幸いです。



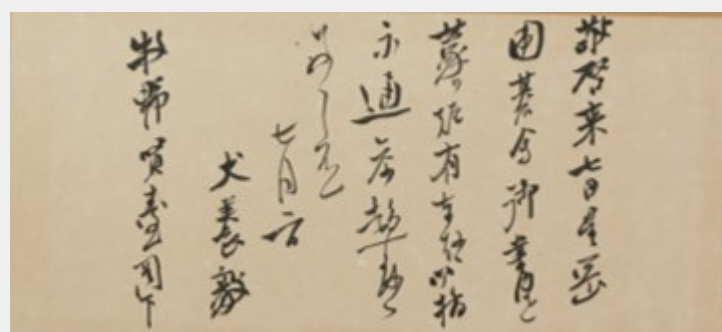
今回特別に 展示される史料



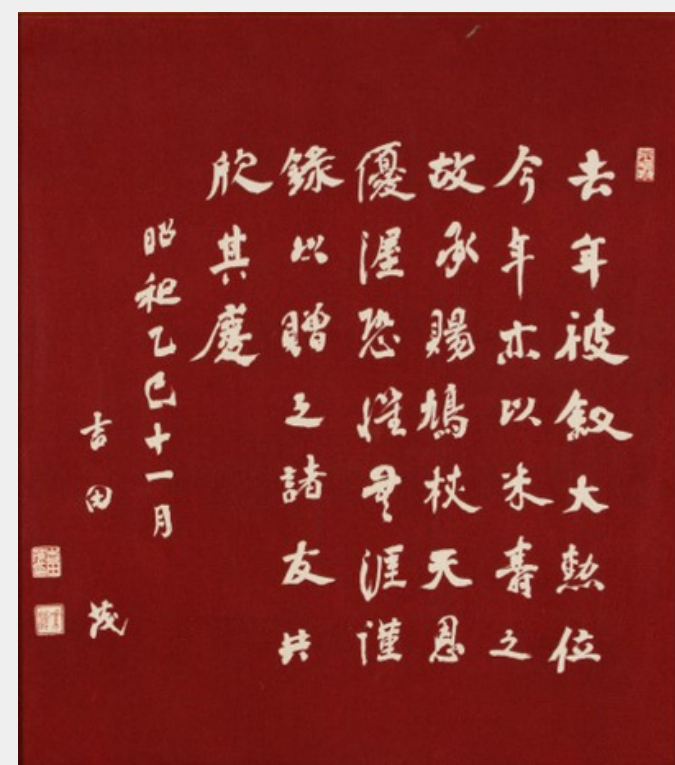
西園寺公望より吉田茂あて



原敬より牧野伸顕あて



犬養毅より牧野伸顕あて

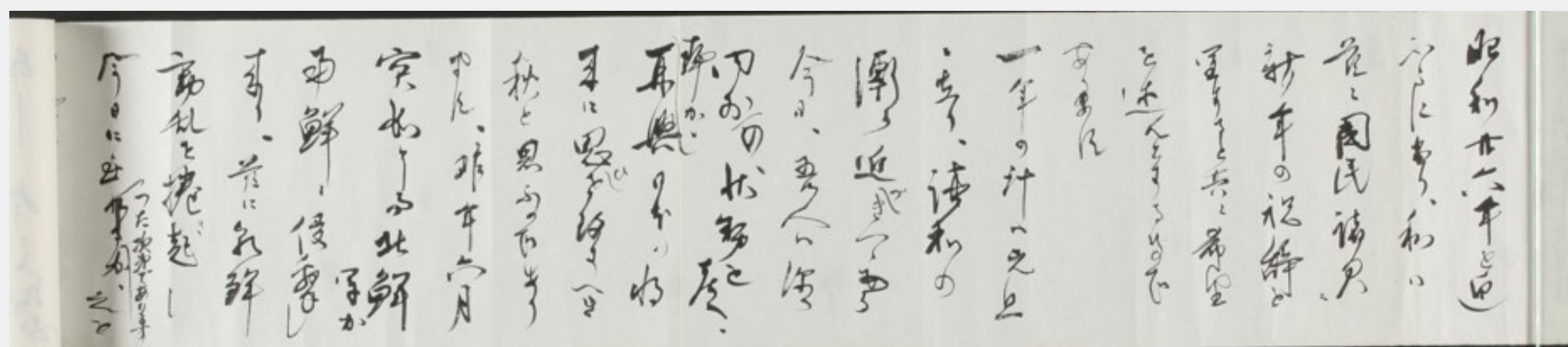


米寿祝の御礼風呂敷
1965(昭和40)年

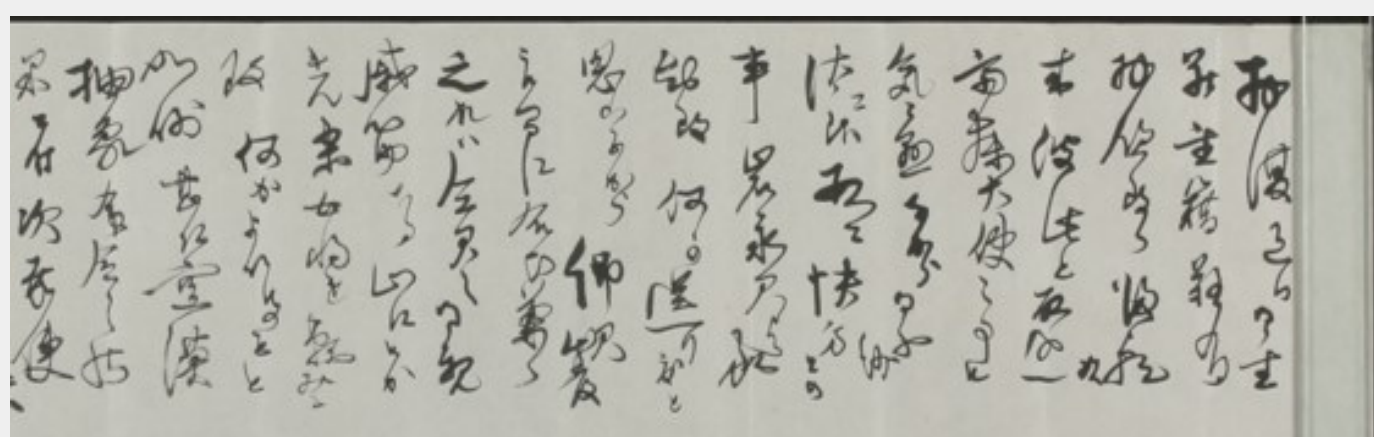
吉田茂邸の2階応接間にあった衝立

吉田が尊敬していた人々の書翰が貼られている。それらの書翰は政局・時勢論から個人的な依頼や礼状まで幅広く、吉田の人物交流を伺うことができる。

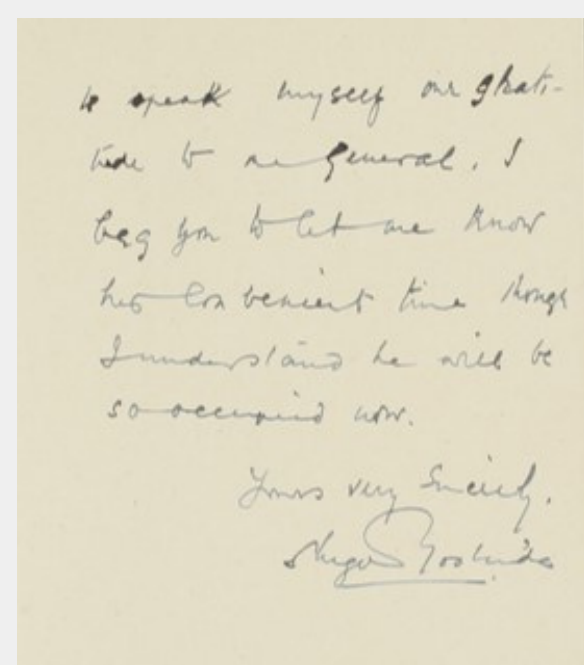
- 表面：西園寺公望(元首相・元老)、山本権兵衛(元首相)、原敬(元首相)、鈴木貫太郎(元首相)、若槻礼次郎(元首相)、池田成彬(元蔵相)、牧野伸顕(吉田茂岳父・元内大臣)、竹内綱(吉田茂実父)、犬養毅(元首相)
- 裏側：岡田啓介(元首相)、幣原喜重郎(元首相)、鈴木貫太郎、犬養毅、米内光政(元首相)、牧野伸顕、古島一雄(元犬養毅側近)



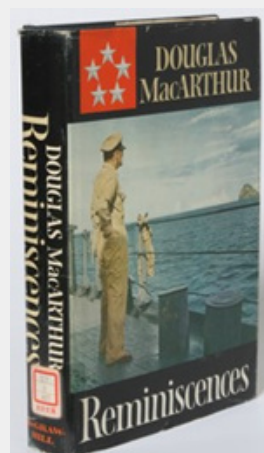
吉田茂ラジオ放送「年頭の挨拶」自筆原稿 1951(昭和26)年元旦放送
朝鮮戦争と冷戦への心構えを国民に訴えた



吉田茂より北沢直吉宛書翰 1939(昭和14)年2月24日付
病身の齋藤駐米大使を案じる内容



吉田茂よりL.E.バンカー宛書翰
1951(昭和26)年4月13日付
マッカーサー解任の報を受けての
衝撃を記す



マッカーサー
署名本も展示